

ユピテル工業株式会社 YUPITERU

取扱説明書

このたびは、ユピテルの430MHz FMハンディートランシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

⚠ 注意

本機を使用するには、郵政省のアマチュア無線局の免許が必要です。アマチュア無線以外の通信には使用できません。

また、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

※本機は日本国内仕様です。国外では使用できません。

430MHz FMハンディートランシーバー CT-H43



●送信出力500mW

単3形乾電池3本で500mWの送信出力を実現しました。

●180°回転式高性能アンテナ

優れた送受信性能と携帯性を実現しました。

●レピーター対応

レピーター(中継局)を使用し、交信エリアをさらに広がられます。

●EEP-ROM採用20+3chメモリー

1~20chのほかに、独立した3つのメモリーチャンネルを搭載。またEEP-ROM採用により、電池の消耗に関係なくメモリー内容を確実にキープします。

●グループ機能

グループナンバーが一致する電波を受信したときだけ受信音を出すことができます。

※グループナンバーは00~99までの100通り

●防滴仕様

多少の水滴なら気にせず使える防滴仕様。
(JIS防滴II形準拠)

はじめに

主な特長	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
各部の名称とはたらき	8
・本体	8
・ディスプレイ	10
■ベルトクリップの取り付けかた	11
電源について	12
■電池の交換時期	13
■電池寿命の目安	13

送信と受信

準備する	14
・アンテナを立てる	14
・電源のON/OFF	14
・音量の調節	15
■モニター機能	15
■パワーセーブ機能	16
■APO機能	16
・FUNC/POWERボタンの機能	17
選局する	18
・VFOモード	18

・周波数の変更	18
送信する	21
■コールトーン送信機能	21
レピーター	22
■レピーターを使った交信	22
・レピーターで交信する	23
リバース機能	24
■リバースで確かめる	24

メモリー

■メモリーチャンネルの種類	26
・1~20チャンネル、プライオリティチャンネル、 レピーターチャンネルへの登録	27
・スプリットチャンネルへの登録	28
メモリーチャンネルを呼び出す	30
・1~20チャンネル、スプリットチャンネルの呼び出し	30
・プライオリティチャンネルの呼び出し	31
・レピーターチャンネルの呼び出し	31
・メモリー内容をVFOモードにコピーする	32
・メモリスキャン	32

メニューモード

・メニューモードの操作手順	34
1 アッテネーターON/OFF	36
2 周波数ステップの変更	36

3 キーロックの設定	37
4 ディスプレイ照明の設定	37
5 グループ機能ON/OFF	38
6 グループナンバーの設定	38
7 トーンON/OFF	39
8 シフト設定ON/OFF	39
9 シフト方向の設定	40
10 シフト幅の設定	40
11 ビープ音ON/OFF	41
12 パワーセーブ機能の設定	41
13 APO機能ON/OFF	42
14 スキャンモードの設定	42
15 REP(REV)ボタンの機能変更	43
16 メモリーの削除	43

その他

リセット	45
アフターサービスについて	46
アマチュア無線局開局申請書の書きかた	46
故障かな?と思ったら	49
オプションについて	50
仕様	51

安全上のご注意

はじめに

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに分けています。

 **警告：** 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

 **注意：** 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

■ 絵表示について

  記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

  記号は禁止の行為であることを告げるものです。

  記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

 安全のため、自動車を運転中には使用しない

 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない
中に入った場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

警告

 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する
そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

 雷が鳴り出したら使用を中止する
落雷の恐れがあります。

 サービスマン以外の方は、絶対に分解したり、改造したり、修理しない
火災や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない
発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

 旅客用飛行機の中では使用しない
飛行機の計器に異常を与える可能性があります。絶対におやめください。

 医用電気機器の近くでは使用しない
植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。医用電気機器の近くでは電源を切り、絶対に使用しないでください。

はじめに

⚠ 注意



オプション以外のスピーカーマイクなどは使用しない

純正の別売品以外の機器と組み合わせて使用すると、故障や事故の原因となります。



直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない

火災や故障の原因となります。



指定以外の電池は使用しない。また、古い電池を混ぜて使用しない

破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。



電池を入れるときは、極性に注意し、指示通りに入れる

間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。



使用済みの電池を火中に投げ入れない

爆発して火災や火傷の原因となります。



長期間ご使用にならないときは、中の電池を抜く

液漏れにより、周囲を汚損する原因となります。



イヤホンやヘッドセットで使用するときは、音量に注意する

突然の音で耳を痛める恐れがあります。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機は防滴仕様（JIS 防滴 II 形）ですが、過酷な使用条件にも耐えうる、特別な構造を施したものではありません。水の中などには入れないでください。
- スピーカー/マイク端子のカバーがはずれたり、オプションのスピーカーマイクなどを使用しているときは、内部に水が入りやすくなりますので、ご注意ください。
- アンテナは無理に折り曲げないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなどの静電気の起こりやすいものや、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

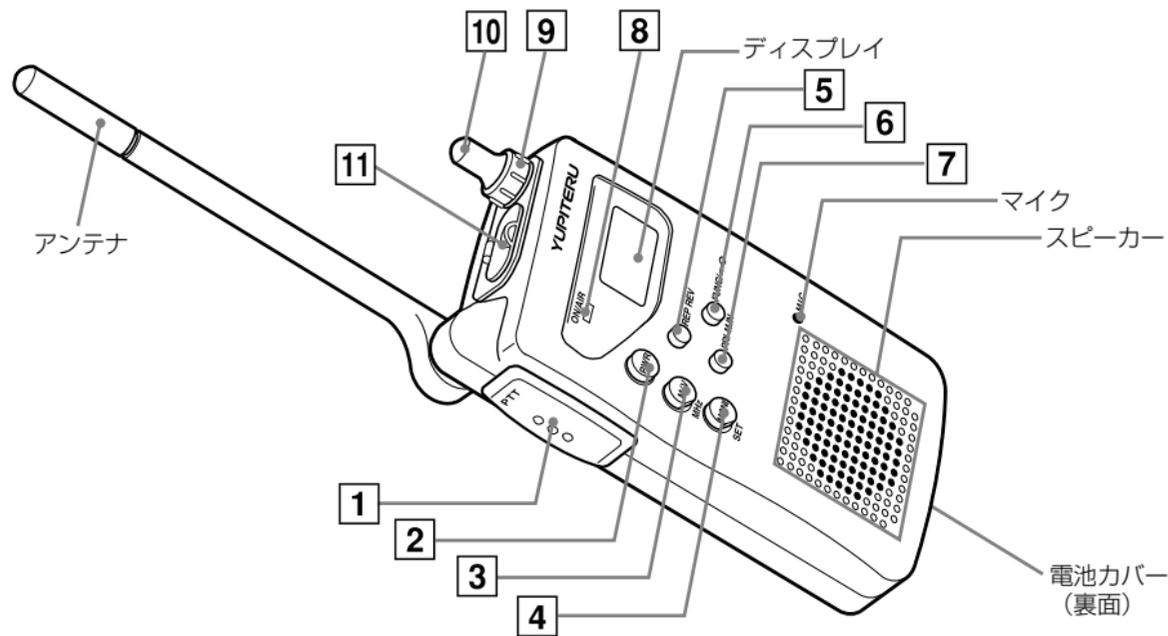
使用上の制限

- 本機を使用するには、郵政省のアマチュア無線局の免許が必要です。また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。
- お客さまが受信した内容は、電波法で、第三者に漏らすことを禁止しています。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- 本機は日本国内仕様です。国外では使用できません。

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

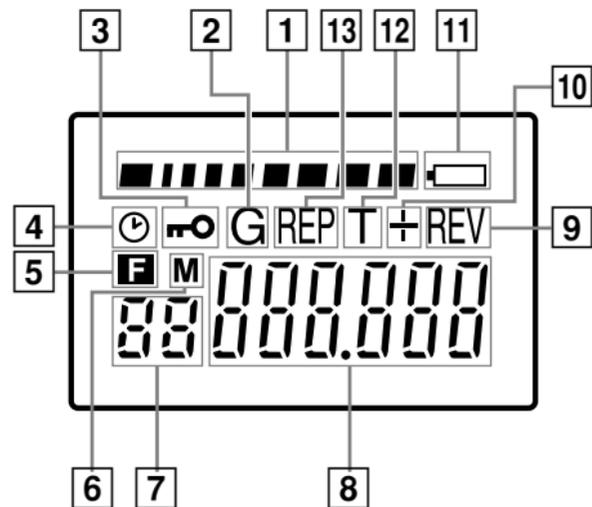
各部の名称とはたらき

本体



- 1 PTTボタン**
押ししている間、送信します。
- 2 PWRボタン**
電源の入/切ができます。
- 3 M/V(MHz)ボタン**
メモリーチャンネル(1~20、スプリット)とVFOモードの切り換えやスキャンができます。ファンクション状態では、周波数の変更ができるようになります。
- 4 MONI(SET)ボタン**
スケルチのON/OFFができます。ファンクション状態では、設定内容の確定や、メモリーチャンネルの内容をVFOモードにコピーすることができます。
- 5 REP(REV)ボタン**
レピーター使用条件の設定や解除、またはレピーターチャンネルの呼び出しができます。ファンクション状態では、リバース機能の設定や解除ができます。
- 6 FUNC/PTTボタン**
ファンクション状態にしたり、キーロックの設定や解除ができます。
- 7 PRI(M.IN)ボタン**
プライオリティチャンネルを呼び出します。ファンクション状態で押すと、メモリーチャンネルへの登録ができます。
- 8 ON AIRランプ**
送信中に点灯します。
- 9 VOL(音量)ツマミ**
音量の調節ができます。
- 10 ダイヤルツマミ**
周波数やメモリーチャンネル、機能設定などを選択できます。
- 11 スピーカー/マイク端子**
オプションのスピーカーマイクなどを接続する端子です。オプション接続時のPTTボタン操作はオプション側になります。

ディスプレイ

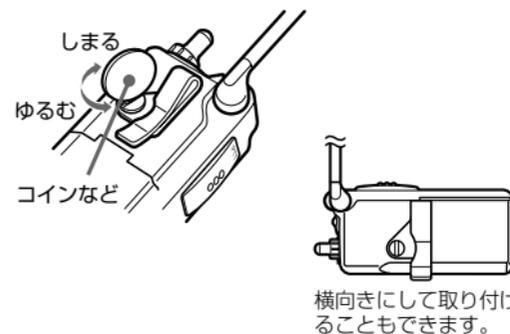


- 1** Sメーター
電波を受信すると、信号の強度に応じて左から順に点灯します。
- 2** グループ表示
グループ機能ON時に点灯します。
- 3** キーロック表示
キーロック状態で点灯します。
- 4** APO(Auto Power Off)表示
APO機能ON時に点灯します。
- 5** ファンクション表示
ファンクション状態で点灯します。
- 6** メモリー表示
メモリーチャンネルの登録や呼び出し時に表示されます。
- 7** メモリーチャンネル表示
メモリーチャンネルの登録や呼び出し時に、チャンネルを表示します。またメニューモードでは項目番号を表示します。
- 8** 周波数表示
周波数や機能設定時の内容を表示します。またスキャン中は、小数点が点滅します。
- 9** REV表示
リバース機能ON時に点灯します。
- 10** シフト方向表示
シフト機能設定時、送信周波数のシフト方向を、-または+で表示します。
- 11** ローバッテリー表示
電圧が低下し、電池交換が必要なときに点滅します。
- 12** トーン表示
送信周波数にトーンが付加されているときに点灯します。
- 13** REP表示
レピーター設定時に、トーン表示やシフト方向表示(+、-)とともに点灯します。

- 8** 周波数表示
周波数や機能設定時の内容を表示します。またスキャン中は、小数点が点滅します。
- 9** REV表示
リバース機能ON時に点灯します。
- 10** シフト方向表示
シフト機能設定時、送信周波数のシフト方向を、-または+で表示します。
- 11** ローバッテリー表示
電圧が低下し、電池交換が必要なときに点滅します。
- 12** トーン表示
送信周波数にトーンが付加されているときに点灯します。
- 13** REP表示
レピーター設定時に、トーン表示やシフト方向表示(+、-)とともに点灯します。

ベルトクリップの取り付けかた

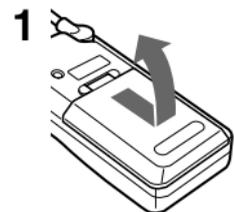
ベルトクリップ取付ネジで取り付けます。(脱落を防ぐため、多少ネジが硬くなっています)



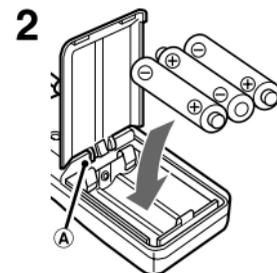
工事用ドライバーなどで強く締め付けると、ベルトクリップに無理な力が加わり、ネジが破損してベルトクリップが使えなくなる恐れがあります。

市販の単3乾電池をお買い求めください。

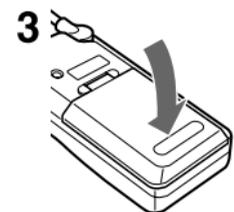
1 電池カバーを開ける



2 ⊕と⊖を間違えないように電池を入れる



3 電池カバーを閉める



電池カバーがはずれたときは、Ⓐ部分をはめ込んでから閉めてください。

- 電池を交換するときには、必ず電源を切ってから取り換えてください。
- 電池を出し入れするときは、ベルトクリップを取りはずしてください。
- 別売のニッカド電池BP-36を使用することもできます。

⚠ 注意

- 指定以外の電池を使用したり、古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を抜いてください。

電池の交換時期

使用中にローバッテリー表示(□)が点滅したり、アラーム音(ポポポッ)が鳴ったら、3本とも新しい電池に交換してください。

電池が消耗していると、送信できなくなったり、送信時や音量を大きくしたときに、電源が切れてしまうことがあります。また、電池の種類や消耗度合いによっては、交換時期をお知らせできないことがあります。

電池寿命の目安

送信30秒、受信30秒、待ち受け4分で使用した場合、アルカリ電池で約32時間、ニッカド電池(BP-36)では約10時間です。

電池寿命は、使用する条件によって、異なります。特に寒冷地では、電池寿命が短くなります。

準備する

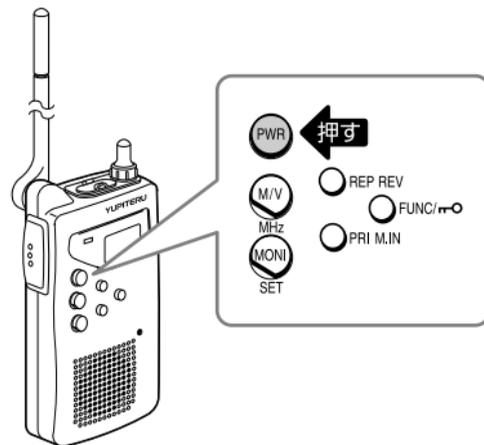
アンテナを立てる



- 使用するときは、必ずアンテナを立てた状態にしてください。

電源のON/OFF

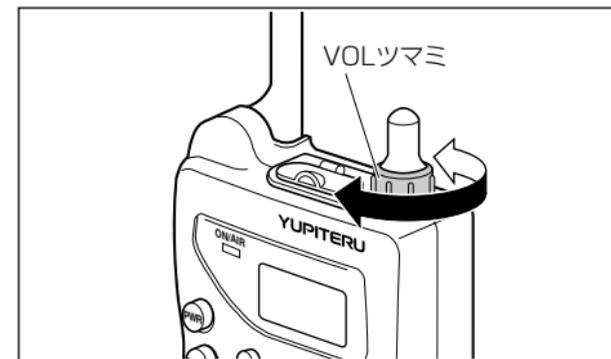
PWRボタンを押し続ける(約1秒間)と電源が入ります。



- 電源を切るときは、もう1度、約1秒間PWRボタンを押し続けてください。

音量の調節

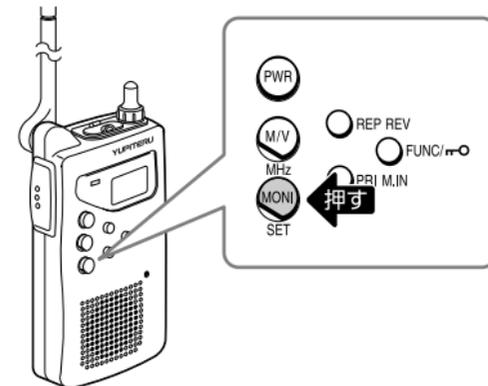
VOLツマミを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。



受信信号が聞こえない場合には、MONI(SET)ボタンを押し、音量を調節してください。また、音量の調整が終わったら、もう1度MONI(SET)ボタンを押して無信号時の雑音を消してください。

モニター機能

MONI(SET)ボタンを押すたびに、スケルチのON/OFFを切り換えます。



受信信号がないときには雑音を出さない状態(スケルチON)になっていますが、MONI(SET)ボタンを押すと、強制的にスケルチをOFFにして、音を出すことができます。受信信号が弱くて途切れる場合や、音量を調節するときなどに使用してください。

パワーセーブ機能

待ち受け時に、受信や操作のない状態が約3秒間続くと、一定の周期で受信回路の電源をON/OFFして、電池の消耗を少なくします。

メニューモードでパワーセーブ機能をOFFにしたり、周期を変更することができます。
初期設定は約0.4秒周期です。
(メニューモード：41ページをご覧ください)

APO(オートパワーオフ)機能

待ち受け時に、受信や操作のない状態が約1時間続くと、自動的に電源が切れ、電池の消耗を防ぎます。

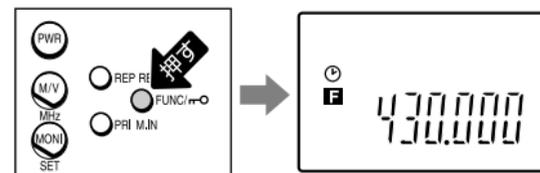
メニューモードでAPOのON/OFFを設定できます。初期設定はONです。
(メニューモード：42ページをご覧ください)

FUNC/ⓂOボタンの機能

FUNC/ⓂOボタンは、押す時間によって動作が変わります。

ファンクション状態のON/OFF：約1秒以下

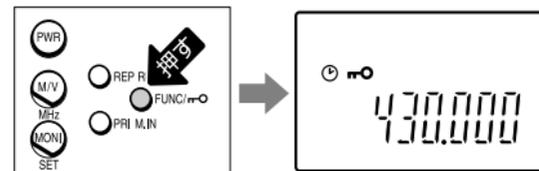
FUNC/ⓂOボタンを押すと、ディスプレイにファンクション表示が点灯して、ファンクション状態となります。



- ファンクション状態でボタンやダイヤルつまみを操作すると、いろいろな機能の設定や解除ができます。
- ファンクション状態は、何も操作しないと、約10秒間で自動的に解除されます。
- スキャン中は、操作できません。
(スキャン：20ページ、32ページをご覧ください)

キーロックの設定と解除：約1秒以上

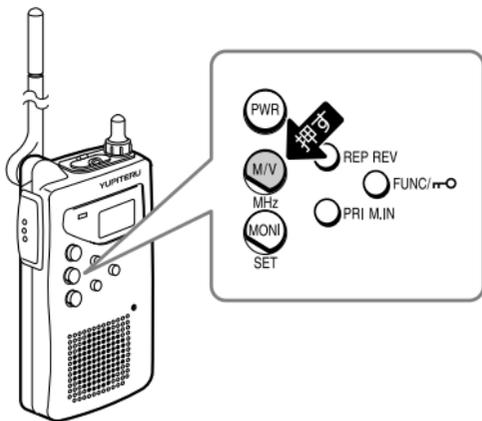
FUNC/ⓂOボタンを押し続けると、ディスプレイにキーロック表示が点灯して、ボタンやダイヤルつまみでの操作ができなくなります。



- キーロックを解除するときは、もう1度FUNC/ⓂOボタンを約1秒以上押し続けてください。
- メニューモードでダイヤルつまみの操作だけを無効にすることもできます。
(メニューモード：37ページをご覧ください)
- スキャン中は、操作できません。
(スキャン：20ページ、32ページをご覧ください)

VFOモード

VFOモードは、ディスプレイにメモリー表示やファンクション表示が点灯していない状態です。ディスプレイにメモリー表示が点灯している場合は、M/V(MHz)ボタンを押すと、VFOモードになります。



M/V(MHz)ボタンを約1秒間押し続けると、スキャンの開始や解除となります。
(スキャン：20ページ、32ページをご覧ください)

周波数の変更

1 ダイヤルツマミで変更する

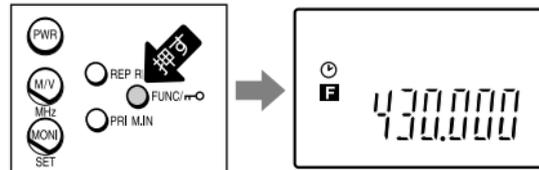
ダイヤルツマミを右に回すと高い周波数に、左に回すと低い周波数になります。



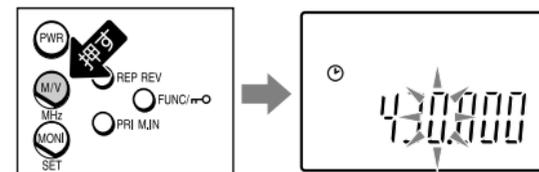
- 本機の送受信範囲は、430.000～439.995MHzです。
- 周波数ステップの初期設定は20kHzです。
- メニューモードで周波数ステップを変更することができます。
(メニューモード:36ページをご覧ください)

2 特定の桁を変更する

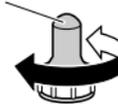
- 1 FUNC/M-Oボタンを押す
ファンクション表示が点灯します。



- 2 M/V(MHz)ボタンを押す
MHz桁が点滅して、周波数を変更できるようになります。

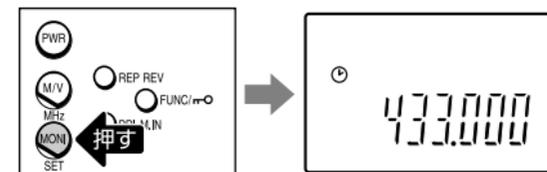


- 3 ダイヤルツマミを回して周波数を選ぶ
ダイヤルツマミ



もう一度M/V(MHz)ボタンを押すと、変更桁が変わります。

- 4 MONI(SET)ボタンを押す
周波数が変更されます。



操作を中止するときは、周波数の桁が点滅しているときにFUNC/M-OボタンまたはPTTボタンを押してください。

周波数の変更

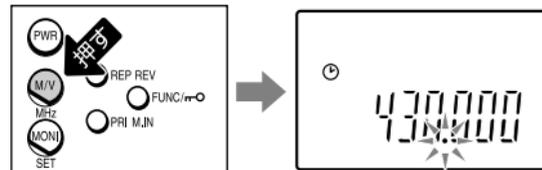
3 VFOスキャンする

選択している周波数ステップで、自動的に周波数を変えながら、電波を探す機能です。スキャンには、次の2つのモードがあります。

- ビジースキャン…受信電波がなくなると、約2秒後にスキャンを再開します。
- タイムスキャン…受信開始から約5秒後にスキャンを再開します。

- 初期設定はビジースキャンになっています。
- スキャンモードは、メニューモードで変更できます。(メニューモード:42ページをご覧ください)
- スキャン中、FUNC/□○ボタンやグループ機能は、はたらきません。(グループ機能:38ページをご覧ください)

- 1 M/V(MHz)ボタンを押し続ける(約1秒間) 小数点が点滅し、VFOスキャンが始まります。



スキャンを解除するときは、PTTボタンを押すか、もう1度M/V(MHz)ボタンを約1秒間押し続けてください。

- 2 電波を受信すると、スキャンが一時停止します。



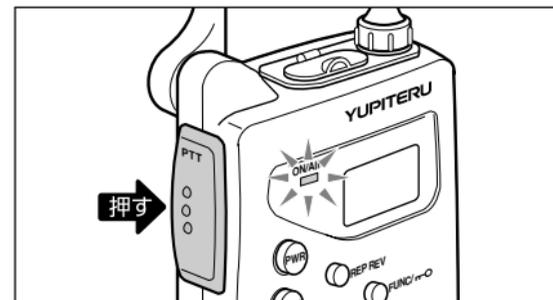
ダイヤルつまみを回すと、スキャンの再開やスキャン方向の変更ができます。

送信する

他局が使用している周波数は、避けてください。

- 1 PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ON AIRランプが点灯します。



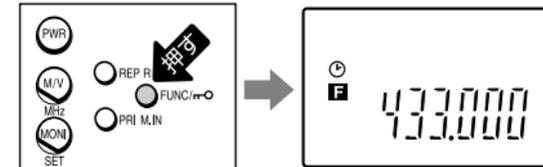
- 2 話し終わったら、PTTボタンから指を離す

電波を受信すると、Sメーターが点灯します。

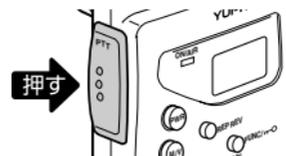
コールトーン送信機能

コールトーン(呼び出し音)を送信できます。

- 1 FUNC/□○ボタンを押す
ファンクション表示が点灯します。



- 2 PTTボタンを押す
コールトーンを約5秒間送信します。



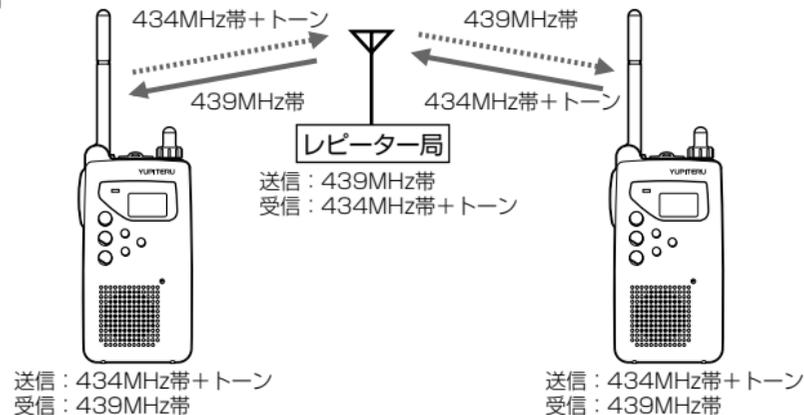
コールトーンを送信を中止するときは、もう1度PTTボタンを押してください。

レピーター

直接には電波が届かない場所でも、レピーター(中継局)を使用すれば、交信エリアが広がります。

レピーターを使った交信

レピーターは、88.5Hzのトーンが含まれた434MHz帯の電波を受信し、439MHz帯に周波数を変えて送信します。

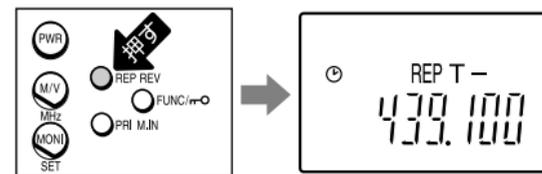


- 初期設定では、レピーターに必要な条件(シフト幅: 5MHz、シフト方向: -、トーン付加)がREP(REV)ボタンに登録されています。
- REP(REV)ボタンの機能は、メニューモードでレピーターメモリーチャンネルの呼び出しボタンに変更することができます。(メニューモード: 43ページをご覧ください)

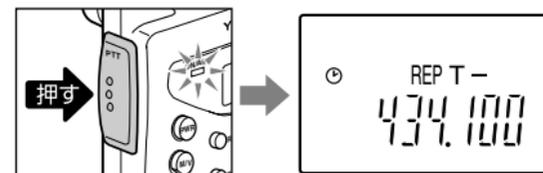
- レピーター設定は周波数を変えても継続されていますが、送信周波数が範囲外の場合は送信できません。
- スプリットチャンネルでは、シフト幅やシフト方向の設定が無効になります。(スプリットチャンネル: 28ページをご覧ください)

レピーターで交信する

- 希望するレピーターの周波数に合わせる
- REP(REV)ボタンを押す
REP表示、トーン表示、シフト方向表示が点灯し、レピーターを使用するための条件が設定(レピーター設定)されます。
- PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す
ON AIRランプが点灯し、自動的にシフトした周波数で送信されます。

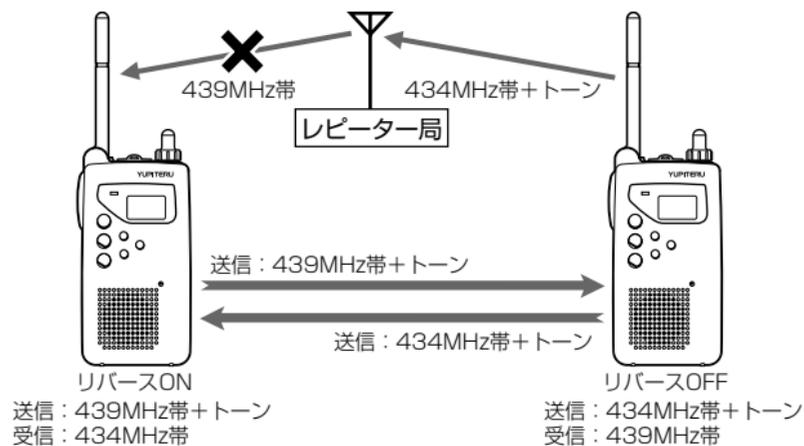


- 解除するときには、もう1度REP(REV)ボタンを押してください。
- グループ機能使用中にレピーターを設定すると、グループ機能は解除されます。(グループ機能: 38ページをご覧ください)



リバーズで確かめる

送信と受信の周波数を反転（送信：439MHz帯、受信：434MHz帯）させ、レピーターを使用せずに交信できるかを確認することができます。直接交信できる場合は、レピーターを使用しないで、別の周波数帯で交信してください。



- リバーズ機能は、ディスプレイにシフト方向表示が点灯しているか、スプリットチャンネルを呼び出している状態でないと設定できません。（スプリットチャンネル:28ページをご覧ください）
- 送信周波数が範囲外の場合は、リバーズ機能は設定できません。

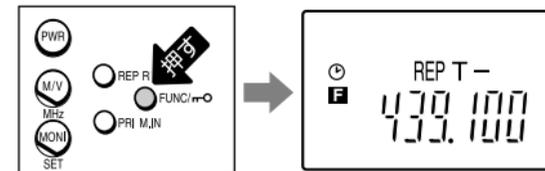
- 周波数を変えると、リバーズ機能は自動的に解除されません。
- リバーズ機能は、メモリーチャンネルに登録できません。（メモリーチャンネル:26ページをご覧ください）

1 周波数の選択やレピーターを設定する



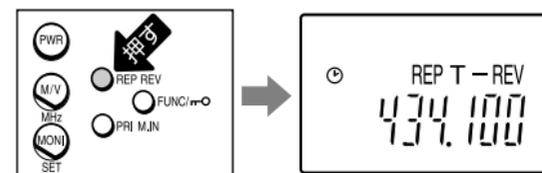
2 FUNC/MONOボタンを押す

ファンクション表示が点灯し、ファンクション状態になります。



3 REP(REV)ボタンを押す

REV表示が点灯し、送信と受信の周波数が逆になります。



解除するときは、ファンクション状態でもう1度REP(REV)ボタンを押してください。

メモリーチャンネルの種類

周波数などをメモリーチャンネルに登録できます。
メモリーチャンネルの種類と登録できる内容は、次のようになります。

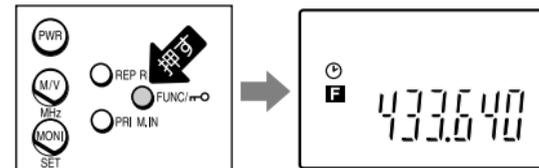
チャンネルの種類	登録内容
1~20チャンネル M 1~20	送受信周波数、レピーター設定ON/OFF、シフトON/OFF、トーンON/OFF、グループ機能ON/OFF、グループナンバー
スプリットチャンネル M SP	受信周波数、送信周波数、レピーター設定ON/OFF、トーンON/OFF、グループ機能ON/OFF、グループナンバー
プライオリティチャンネル M P	送受信周波数、レピーター設定ON/OFF、シフト幅、シフトON/OFF、トーンON/OFF、グループ機能ON/OFF、グループナンバー
レピーターチャンネル M R	送受信周波数、レピーター設定ON/OFF、シフト幅、シフトON/OFF、トーンON/OFF、グループ機能ON/OFF、グループナンバー

- プライオリティチャンネルとレピーターチャンネルには、433.000MHzと439.000MHzがあらかじめ登録されています。
- スプリットチャンネルは、受信用と送信用の2つの周波数を登録するため、登録手順が少し異なります。また、メニューモードで設定しているシフト方向やシフト幅は無効になります。(メニューモード:40ページをご覧ください)
- メモリーの削除はメニューモードで行います。(メニューモード:43ページをご覧ください)

1~20チャンネル、プライオリティチャンネル、レピーターチャンネルへの登録

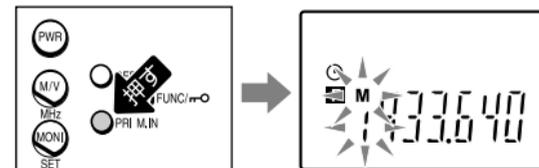
1 周波数を合わせ、必要により機能を設定する

2 FUNC/□ボタンを押す



3 PRI(M.IN) ボタンを押す

メモリー表示とメモリーチャンネルが点滅します。

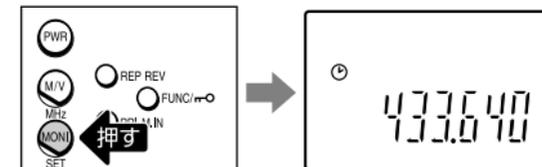


4 ダイヤルツマミを回して登録するチャンネルを選ぶ



すでに登録されているチャンネルは、メモリー表示が点灯に変わります。

5 MONI(SET) ボタンを押す
登録完了です。

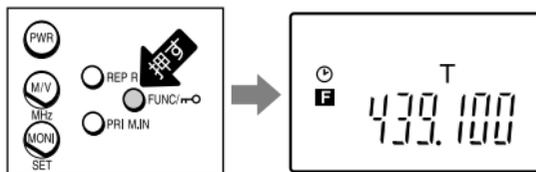


登録を中止するときは、FUNC/□ボタン、またはPTTボタンを押してください。

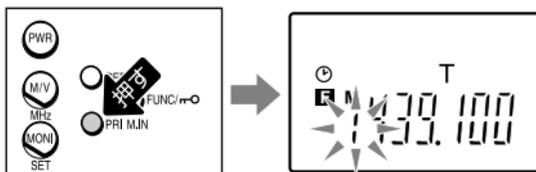
スプリットチャンネルへの登録

- 1 受信周波数を合わせ、必要により機能を設定する

- 2 FUNC/⇄Oボタンを押す

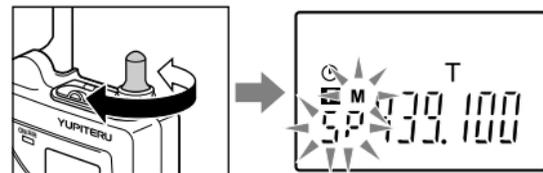


- 3 PRI(M.IN)ボタンを押す
メモリー表示とメモリーチャンネルが点滅します。

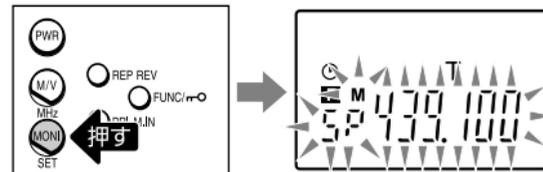


すでに登録されているチャンネルは、メモリー表示が点灯します。

- 4 ダイヤルツマミを回してスプリットチャンネルを選ぶ

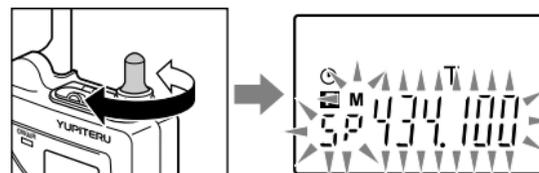


- 5 MONI(SET)ボタンを押す
受信周波数が登録され、周波数表示が点滅します。

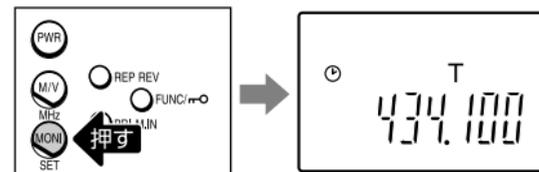


- 続けて送信周波数を登録します。
- 送信周波数を登録しないで操作を中止すると、受信周波数と同じ周波数が送信周波数として登録されます。

- 6 ダイヤルツマミを回して送信周波数を合わせる



- 7 MONI(SET)ボタンを押す
登録完了です。

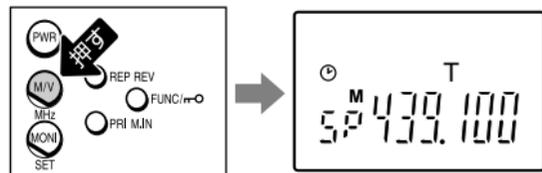


登録を中止するときは、FUNC/⇄Oボタン、またはPTTボタンを押してください。

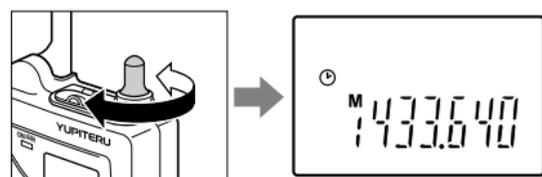
メモリーチャンネルを呼び出す

1~20チャンネル、スプリットチャンネルの呼び出し

1 M/V (MHz) ボタンを押す
前回表示したチャンネルが呼び出されます。



2 ダイアルツマミを回して希望のチャンネルを選ぶ

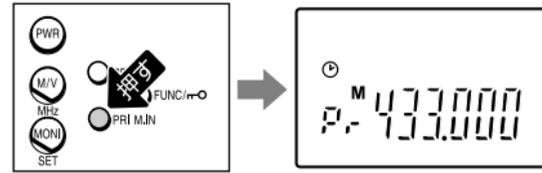


- メモリー登録されていないチャンネルの呼び出しはできません。
- VFOスキャン中には、メモリーの呼び出しはできません。
- VFOモードに戻るときは、もう1度M/V (MHz) ボタンを押してください。
- M/V (MHz) ボタンを押し続ける(約1秒間)と、VFOスキャンまたはメモリースキャンになります。(メモリースキャン:32ページをご覧ください)

スプリットチャンネルなどの送信用周波数は表示されません。

プライオリティチャンネルの呼び出し

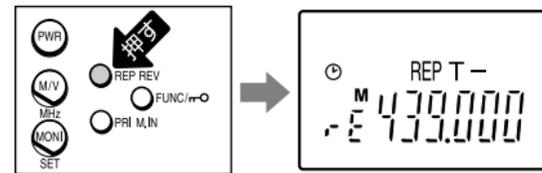
1 PRI (M.IN) ボタンを押す
プライオリティチャンネルを呼び出します。



- スキャン中に、プライオリティチャンネルを呼び出すことはできません。
- プライオリティチャンネルの初期設定値は433.000MHzです。
- もう1度PRI (M.IN) ボタンを押すと、呼び出し前の状態に戻ります。
- プライオリティチャンネルを呼び出した状態でPRI (M.IN) ボタンを押し続ける(約1秒間)と、プライオリティチャンネルでのスキャンとなります。

レピーターチャンネルの呼び出し

1 REP (REV) ボタンを押す
レピーターチャンネルを呼び出します。

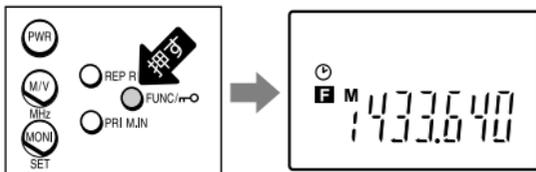


- あらかじめ、メニューモードでレピーターチャンネルの呼び出しができるようにしておきます。(メニューモード:43ページをご覧ください)
- スキャン中に、呼び出すことはできません。
- レピーターチャンネルの初期設定値は、受信周波数439.000MHz、レピーターONです。
- もう1度REP (REV) ボタンを押すと、呼び出し前の状態に戻ります。
- レピーターチャンネルが呼び出せる状態でREP (REV) ボタンを押し続ける(約1秒間)と、レピーターチャンネルでのスキャンとなります。

メモリーチャンネルを呼び出す

メモリー内容をVFOモードにコピーする

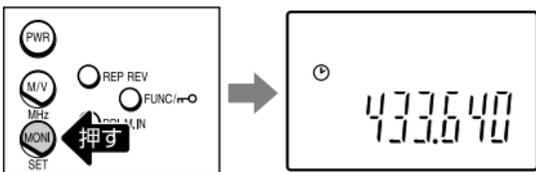
- 1 希望するメモリーチャンネルを選び、FUNC/MONIボタンを押す



スプリットチャンネルの場合は、受信周波数の内容をコピーします。

- 2 MONI (SET) ボタンを押す

メモリーチャンネルの内容がコピーされ、VFOモードになります。



メモリースキャン

メモリーチャンネルを自動的に呼び出しながら電波を探す機能です。

ビジースキャン(初期設定)とタイムスキャンの2つのモードがあります。

- ビジースキャン…受信電波がなくなると、約2秒後にスキャンを再開します。
- タイムスキャン…受信開始から約5秒後にスキャンを再開します。

- スキャンモードはメニューモードで変更できます。(メニューモード:42ページをご覧ください)
- 1~20チャンネル、スプリットチャンネル間は、2チャンネル以上登録されていないと、スキャンできません。
- スキャン中、FUNC/MONIボタンやグループ機能ははたきません。(グループ機能:38ページをご覧ください)

- 1 スキャンしたいメモリーチャンネルを呼び出す

- 1~20チャンネル、スプリットチャンネルをスキャンする場合



- プライオリティチャンネルでスキャンする場合



- レピーターチャンネルでスキャンする場合

※あらかじめ、レピーターチャンネルの呼び出しができるよう、機能を変更しておきます。

(メニューモード:43 ページをご覧ください)



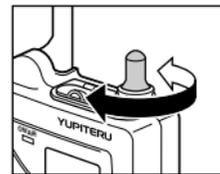
- 2 同じボタンを、もう1度押し続ける(約1秒間)

周波数表示の小数点が点滅し、スキャンが始まります。

スキャンを解除するときは、もう1度同じボタンを押し続ける(約1秒間)か、PTTボタンを押してください。

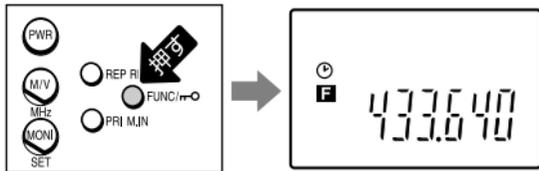
- 3 電波を受信すると、スキャンが一時停止する

ダイヤルツマミを回すと、スキャンを再開させたり、スキャン方向を変えることができます。

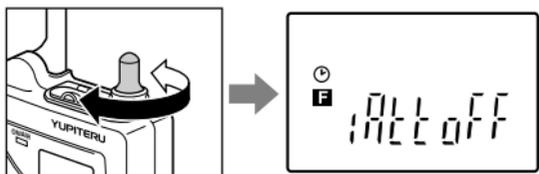


メニューモードの操作手順（機能を設定/解除/変更する）

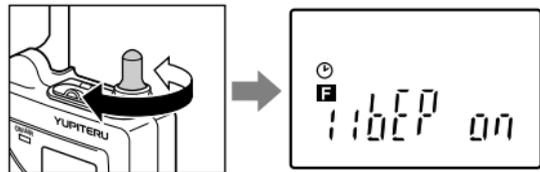
- 1 FUNC/Ⓜ-O ボタンを押す
ファンクション状態になります。



- 2 ダイヤルツマミを回す
メニューモードになり、周波数表示部に設定項目が表示されます。



- 3 ダイヤルツマミを回して、設定項目を選ぶ

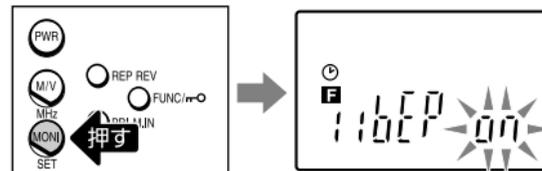


■設定項目

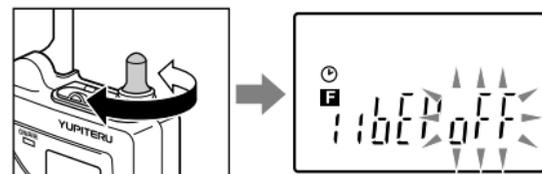
項目	参照ページ	項目	参照ページ
アッテネーター	36	シフト方向	40
周波数ステップ	36	シフト幅	40
キーロック	37	ビーブ音	41
ディスプレイ照明	37	パワーセーブ	41
グループ機能	38	APO	42
グループナンバー	38	スキャンモード	42
トーン	39	REP(REV)ボタンの機能	43
シフト	39	※メモリーの削除	43

※メモリーの削除は、メモリーチャンネルを呼び出した状態でメニューモードにすると表示されます。

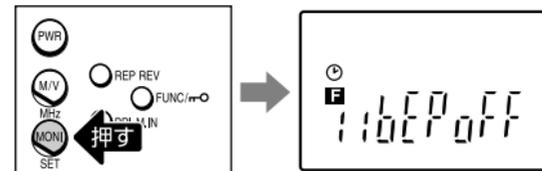
- 4 MONI(SET) ボタンを押す
変更できる内容が点滅表示に変わります。



- 5 ダイヤルツマミを回して、設定内容を変更する



- 6 MONI(SET) ボタンを押す
変更内容が確定し、点滅表示が点灯表示に変わります。

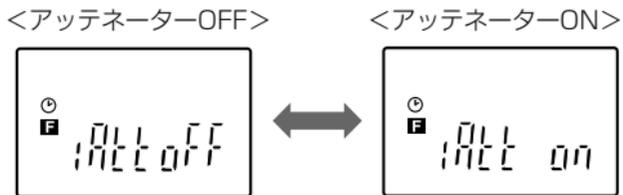


- 他にも変更したい項目がある場合は、手順 3)からの操作を繰り返してください。
- MONI(SET) ボタンを押さないでメニューモードを終了すると、設定内容は変更されません。

- 7 メニューモードを終了するときは、PTT ボタンまたはFUNC/Ⓜ-O ボタンを押す

1 アッテネーターON/OFF

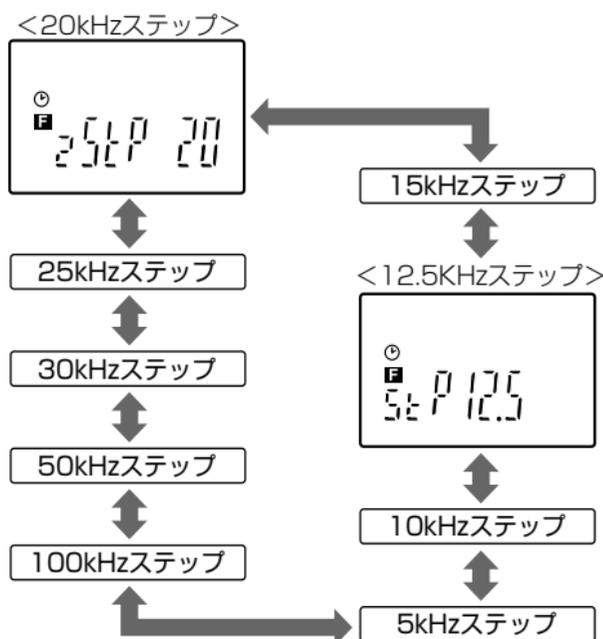
ONにすると、受信感度を下げることができます。通常はOFF(初期設定)で使用し、混信や雑音が多い場合などにONにします。



アッテネーターの減衰量は、約5dBです。

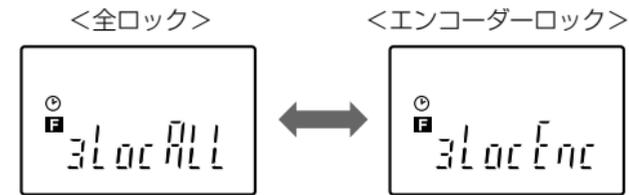
2 周波数ステップの変更

選択できる周波数ステップは、9種類あります。通常は20kHz(初期設定)で使用してください。



3 キーロックの変更

キーロックの種類が変更できます。初期設定は全ロックです。



PWRボタン、PTTボタン、キーロック解除、MONI(SET)ボタン以外の操作はできません。

ダイヤルツマミの操作だけができなくなります。

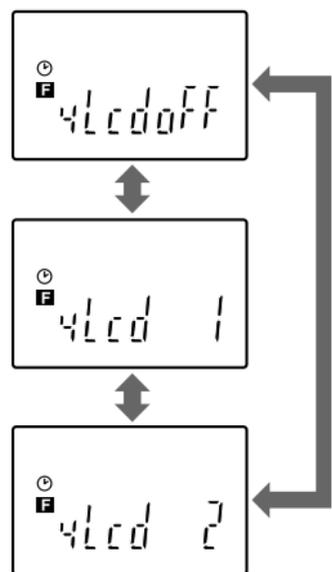
4 ディスプレイ照明の設定

ディスプレイ照明の点灯条件が選べます。ディスプレイの照明は、条件が満たされない場合、約3秒で自動的に消灯します。初期設定はOFFです。

<OFF>
点灯条件…電源が入ったとき。

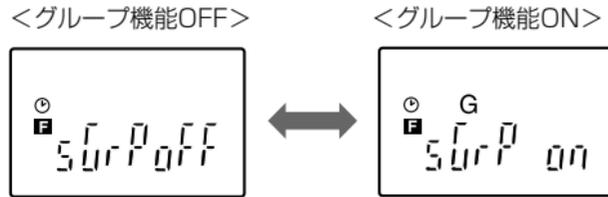
<1>
点灯条件…PTT以外のボタン、ダイヤルツマミが操作されたとき。

<2>
点灯条件…PTT以外のボタンやダイヤルツマミが操作されたときと、Sメーターが点灯したとき。



5 グループ機能ON/OFF

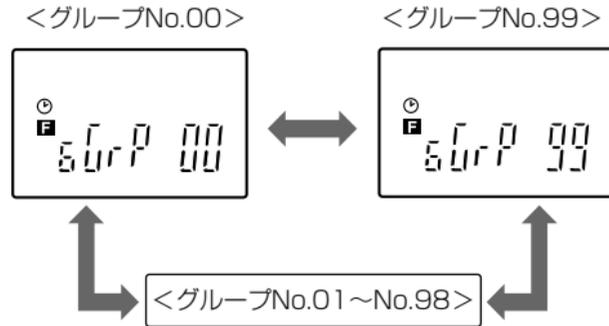
グループ機能をONにすると、グループナンバーが一致する電波を受信したときだけ受信音が出ます。初期設定はOFFです。



- トーン表示が点灯しているときには、グループ機能をONにできません。
- ディスプレイのSメーターは、グループ機能ONでも、電波を受信すると点灯します。
- グループ機能ONでも、電波を受信中にMONI (SET) ボタンを押すと受信音を出すことができます。
- グループ機能は、スキャン中にははたらきません。
- グループ機能は本機独自の仕様です。他のトランシーバーと交信する場合は、グループ機能をOFFにしてください。

6 グループナンバーの設定

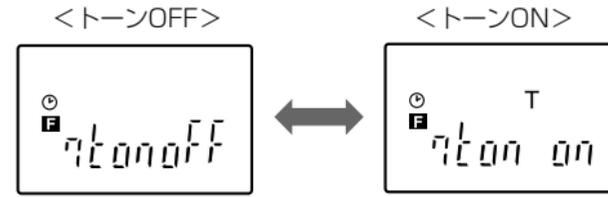
グループナンバーは、00～99までの100通りから選ぶことができます。初期設定は00です。



交信したい相手と同じグループナンバーを設定してください。

7 トーンON/OFF

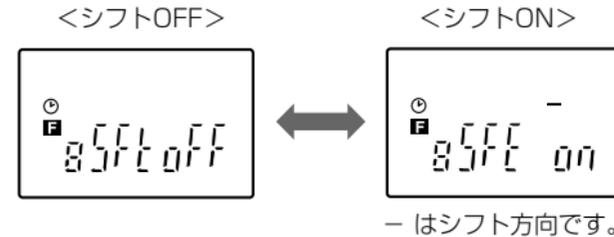
ONにすると、送信周波数に88.5Hzのトーンが付け加えられます。初期設定はOFFです。



- レピーター設定時には、トーンをOFFにできません。またレピーター設定をOFFにすると、自動的にトーンもOFFになります。
- グループ機能がONになっていると、トーンをONにできません。

8 シフト設定ON/OFF

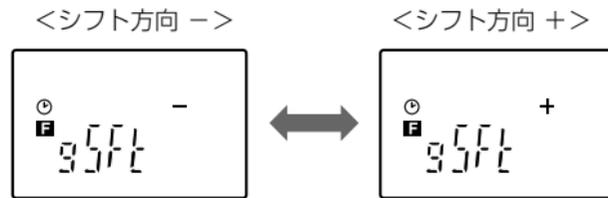
受信周波数と異なる周波数で送信することができます。通常はOFF (初期設定) で使用してください。



- スプリットチャンネル呼び出し時には、シフト設定はできません。
- レピーター設定時には、自動的にシフト設定もONになります。

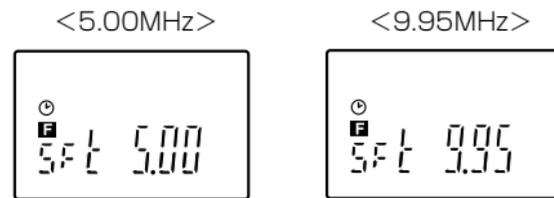
9 シフト方向の設定

受信周波数に対して、送信周波数を高くシフト(+)
するか、低くシフト(-)するかを設定します。
通常は - (初期設定)で使用してください。



10 シフト幅の設定

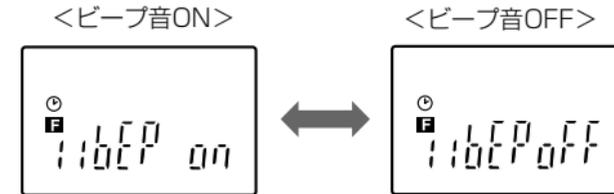
受信周波数に対して、どれだけ離れた周波数で送
信するかを設定します。
通常は5.00MHz(初期設定)で使用してください。



シフト幅は、0.00MHz~9.95MHz(50kHzステップ固
定)で設定できます。

11 ビープ音ON/OFF

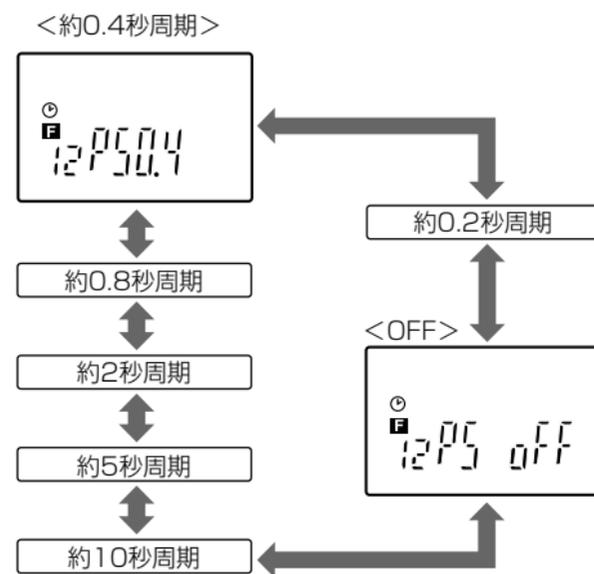
OFFにすると、ボタンを押したときの操作音や、
機能設定時の確認音などを出さなくすることがで
きます。
初期設定はONです。



OFFにすると、電池消耗時のアラーム音(ポポポッ)など
も出なくなります。

12 パワーセーブ機能の設定

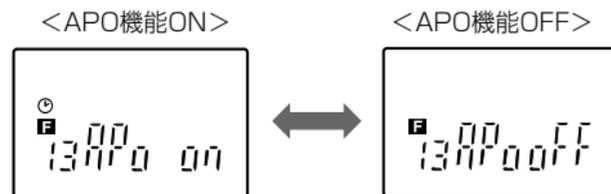
パワーセーブ機能をOFFにしたり、間欠動作の周
期を変更することができます。
初期設定は約0.4秒周期です。



13 APO機能ON/OFF

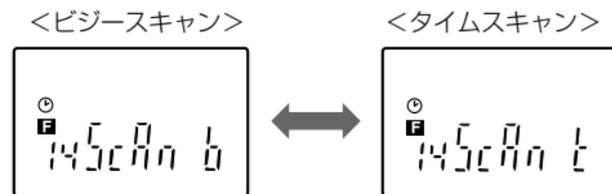
APO(オートパワーオフ)機能の設定や解除ができます。

初期設定はONです。



14 スキャンモードの設定

スキャンの再開条件を選択できます。
初期設定はビジースキャンです。

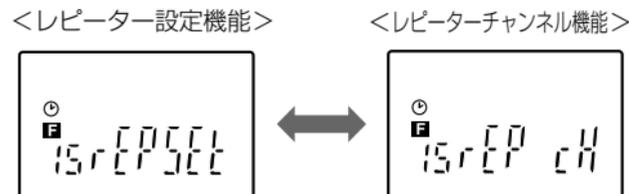


電波を受信しなくなっ
てから、約2秒後にス
キャンを再開します。

スキャンが停止してか
ら、約5秒後にスキャ
ンを再開します。

15 REP(REV)ボタンの機能変更

REP(REV)ボタンの機能を変更できます。
初期設定はレピーター設定機能です。



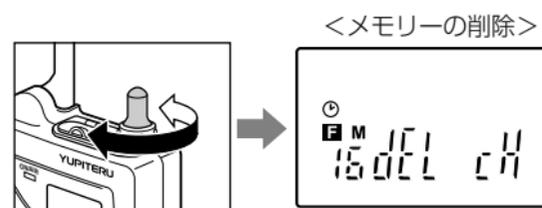
レピーター設定のON/
OFFができる。

レピーターチャンネル
の呼び出しやレピー
ターチャンネルでス
キャンができます。

16 メモリーの削除

メモリーチャンネルを呼び出した状態で、メ
ニューモードにしたときだけ選ぶことができ、登
録したメモリーチャンネルを削除したり、初期状
態に戻すことができます。

- 1 あらかじめメモリーチャンネルを呼び出
した状態でメニューモードにする
- 2 ダイヤルツマミを回して、「16.メモ
リーの削除」を選ぶ

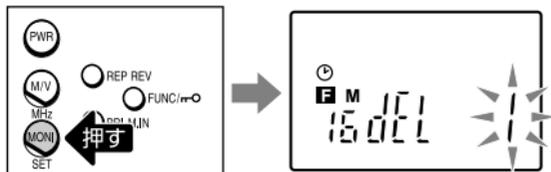


次ページに続く ➡

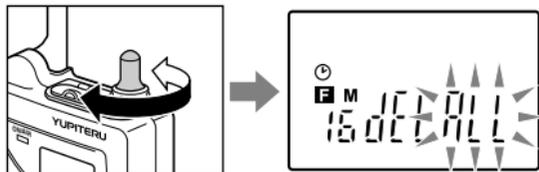
16 メモリーの削除(つづき)

3 MONI(SET)ボタンを押す

チャンネルナンバーの表示が点滅します。



4 ダイヤルつまみを回して、チャンネルを選ぶ

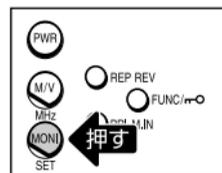


登録されていないチャンネルは表示されません。

- ALLを選択すると、全メモリーを削除できます。ただし、プライオリティチャンネルとレピーターチャンネルは登録内容の初期化となり、チャンネル自体を削除したり、初期値を削除することはできません。

5 MONI(SET)ボタンを押す

メモリーが削除され、メニューモードを終了します。



VFOモードを含め、すべてを初期状態に戻したいときは、リセットしてください。(45ページをご覧ください)

設定や登録内容を、すべて初期状態に戻す

1 電源を切る

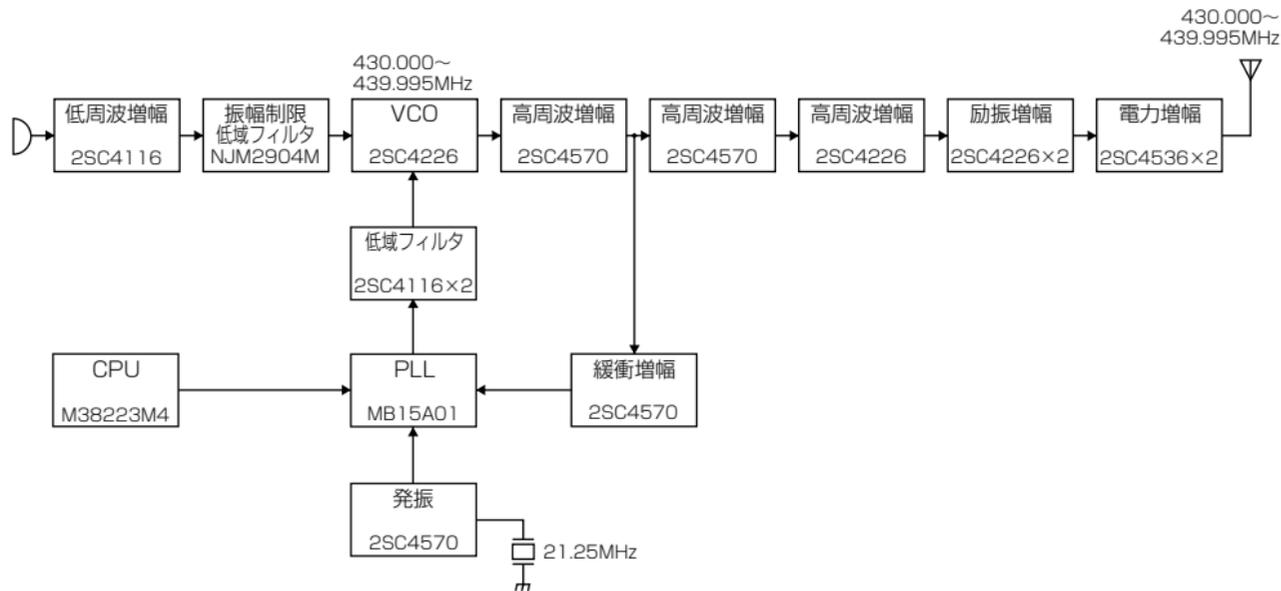
2 M/V(MHz)ボタンとMONI(SET)ボタンを押しながら、電源を入れる 初期状態に戻ります。



アマチュア無線局開局申請書の書きかた

「技術基準適合証明書発行願」で申請する場合、送信機系統図は必要ありません。

送信機系統図



故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次の確認やリセット操作を行ってください。

症状	確認内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか？ 電池が正しく入っていますか？
送信したり音量を上げると電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか？
音量ツマミを回しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> グループ機能をONにしていますか？
ダイヤルツマミやボタンの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> キーロックされていませんか？
レピーターが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> シフトやトーンが正しく設定されていますか？ レピーターとの距離が離れすぎていませんか？
送信すると周波数が変わる	<ul style="list-style-type: none"> シフトやレピーター設定がONになっていませんか？ スプリットチャンネルになっていませんか？
送信できない	<ul style="list-style-type: none"> シフト時の周波数が範囲外になっていませんか？ 電池が消耗していませんか？
リバース設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> 送信周波数が範囲外になっていませんか？
FUNC/ボタンが受け付けられない	<ul style="list-style-type: none"> スキャンしていませんか？ キーロックされていませんか？

オプションについて

■リモコンスピーカーマイク(PM-511)

標準価格5,900円(税別)

送信/受信の他に、周波数の変更やモニター機能、コールトーン送信を手元で行えます。

■スポーツヘルメット用ヘッドセット(HD-720)

標準価格14,800円(税別)

PTTスイッチ付きヘッドセット。

※ヘルメットの形状により取り付けられない場合があります。

■イヤホンマイク(HD-100)

標準価格3,200円(税別)

PTTスイッチ付きのイヤホンマイクです。

■PTT付きヘッドセット(HD-400)

標準価格4,900円(税別)

PTT付きのヘッドセットです。

■VOX/PTT付きヘッドセット(HD-410)

標準価格6,900円(税別)

話すと自動的に送信になるVOX回路付きのハンズフリーヘッドセットです。

■スピーカーマイク(PM-400)

標準価格3,900円(税別)

手元で送信と受信の切り換えができます。

■単3形ニッカド充電器(BP-400)

標準価格4,800円(税別)

単3形ニッカド電池(4/6本)を約5時間で充電できる充電器です。

付属品…単3形ニッカド電池6本、ダミー電池1個

■単3形ニッカド電池6本セット(BP-36)

標準価格2,300円(税別)

オプションのご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、ご不明な点は、最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

⚠ 注意

イヤホンやヘッドセットを使うときは、音量に十分ご注意ください。突然の大きな音で耳を痛める恐れがあります。

仕様

■一般仕様

- 周波数範囲…430.000~439.995MHz
- 電波型式…F3
- 空中線の型式…単一型
- 使用温度範囲…-10℃~+50℃
- 電源電圧(電池電圧)…3.4V~4.9V
- 電源電圧(定格電圧)…4.5V
- 消費電流(送信定格出力時)…約355mA
- 消費電流(受信定格出力時)…約87mA
- 消費電流(パワーセーブ時)…約15mA(0.4秒周期時)
- 接地方式…マイナス接地
- マイクロホンインピーダンス…600Ω
- 寸法(突起部除く)…57(W)×109(H)×28(D)mm
- 重量(電池・ベルトクリップ含む)…約195g

■送信部

- 送信出力(4.5V時)…約500mW
- 変調方式…リアクタンス変調
- 最大周波数偏移…±5.0kHz以内
- スプリアス発射強度…-50dB以下

■受信部

- 受信方式…ダブルスーパーヘテロダイン方式
- 中間周波数…第1:21.7MHz、第2:450kHz
- 受信感度(12dB SINAD)…-15dBμ(0.18μV)
- 低周波出力(8Ω 5%歪時)…90mW

■付属品

- ベルトクリップ(1)
- ベルトクリップ取付ネジ(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- ご相談窓口一覧(1)

※測定法は、JAIAで定めた測定法によるものです。
※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

CT-H43

ユピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0369-A